

浦賀上陸地支局

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十日)

史實 調査 参考 資料 報告

摘要

所在地	沖繩縣宮古島	職官	砲兵隊本部附	終戦時モ ヲ記ス。
所屬部隊	獨混五九旅團砲兵隊	氏名	陸軍海尉	職、変更及、 主ナル参加 戦闘名ヲ記 ス。
支那事変 以降ニ於テ 自己、略歴	昭和十六年四月二十九日内地部隊ヨリ滿洲遼陽ニ移駐歩 兵第五聯隊ニ在リテ勤務十七年四月二十五日連撃隊第 十大隊附爾末海城及牡丹江省ニ在リテ勤務昭和十九 年八月十五日独立混成第五十九旅團砲兵隊第一中隊 段列長、終戦ト共ニ本部附ヲ命ゼラル。			
所屬部隊 編成年月 日及編制裝 備、概要	1. 編成 昭和十九年八月十五日 2. 編成裝備ノ概要 戰砲 三ヶ中隊 大隊段列 一中隊 大隊本部 同指揮機關 迫撃砲 十八門 人員 四一七名(總時)			
所屬部隊 作戰經過、 概要	昭和十九年九月十八日伊良部島上陸以來 隊衛勤務並ニ自若作業ニ従事ス			
終戦(又ハ主 力、戦斗終 了)後、状 況	終戦同時本部附ヲ命ゼテ諸業務ニ従事セシ月 三十四日二八師改命ニ依リ十二月二日米船少シ ヤム、カール号輸送指揮官トシテ宮古島出發 十二月八日浦賀ニ上陸ス			
歸郷(又ハ 連絡)先	[Redacted]			
其他ノ参 考事項	ナシ			
備考	各上陸地支局ハ各帰還將校ヲミテ本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ運送スルモノトス。			

35

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十日)

史實 調査 参考 資料 報告

摘要

所在地	職官	内務掛	摘要
所屬部隊	獨立混成隊五十九旅団砲兵隊	氏名 陸軍准尉 [Redacted]	終戦時モ ノ記ス。
支那軍史 以降ニ於テ 自己ノ略歴	昭和十六年十二月八日大東亞戦争爆發時滿洲公使館警備隊ニ於テ 本報書記及中隊庶務掛トシテ勤務ス。昭和十九年八月二十五日獨逸 軍第五旅団附員トシテ三十九旅団大隊長ニ任ズ。同年九月百金山港出 航。同月十四日官古郡伊良部島ニ上陸。昭和二十年三月三日住陸軍 准尉。同年四月十日獨立混成隊第五旅団砲兵隊ニ轉任。同隊 本報附員トシテ勤務中。終戦現任ニ至ル。		職ノ變更及 主ナル参加 戦闘名ヲ記 ス。
所屬部隊 編成年月 日及編制裝 備ノ概要	昭和十九年八月十五日、昭和十九年八月 十五日、編成裝備ノ概要 イ 本報指揮機関(五十四名) ロ 戰砲中隊三(中隊)ニ隊ニテ輕迫砲六門(一隊約 八大隊段列(六十一名))		最後ノ所屬 部隊ヲ至ニシ 尚其ノ以前 所屬部隊ノ 分ヲモ概記ス。
所屬部隊 作戰經過ノ 概要	昭和十九年三月伊良部島ニ上陸以來昭和二十年 六月五日迄伊良部島中備。昭和二十年六月五日 以降終戦迄官古島中備		歸還輸送 ノ狀況ヲモ 併記ス。
終戦(又ハ主 力ノ戦斗終 了)後ノ狀 況	終戦後、主トシテ中隊自派掛トシテ勤務中 十二月廿日第二次引揚部隊トシテ官古島ヨリ 米船ウイリヤム号ニ乗船。同日出発。十二月八日浦賀港 上陸ス。		併記ス。
歸郷(又ハ 連絡)先	[Redacted]		併記ス。
其他ノ参 考事項	ナシ		併記ス。
備考	各上陸地支局ハ各帰還將校ヲシテ本報告ヲ記載セシメ 才一復員省史実部ニ連送スルモノトス。		併記ス。

浦賀上陸地支局

(昭和二十年十二月十日)

史實 調査 参考 資料 報告

摘要

所在地

沖繩縣宮古郡伊良部島

職官

部隊現地自任班長

所屬部隊

獨逸隊第廿五團砲隊

氏名

陸軍少尉

終戦時ノモ  
ノヲ記ス。

支那軍史  
以降ニ於テ  
自己ノ略歴

大東亞戦役開戦當時獨逸隊陽歩兵第廿五團隊ニ在リテ  
中隊中隊長ニ任ズルニ至リテ五滿洲國境ニ於テ追撃隊ニ充  
隊長外内務係ニ任ズルニ至リテ十一月廿五日伊良部島ニ上  
陸シ五滿洲國公使館ニ於テ独立砲隊第廿五團砲隊中隊中隊長  
ニ任ズルニ至リテ十一月廿五日伊良部島ニ上陸シ五滿洲國公使館  
ニ在リテ十一月廿五日伊良部島ニ上陸シ五滿洲國公使館ニ在リテ  
十一月廿五日伊良部島ニ上陸シ五滿洲國公使館ニ在リテ

職ノ更更及  
主ナル参加  
戦闘名ヲ記  
ス。

所屬部隊

編成年月  
日及編制裝  
備ノ概要

一 獨逸 昭和十九年八月十五日  
二 獨逸 獨逸軍 獨逸軍  
三 獨逸 獨逸軍 獨逸軍  
四 獨逸 獨逸軍 獨逸軍  
五 獨逸 獨逸軍 獨逸軍  
六 獨逸 獨逸軍 獨逸軍

最後ノ所屬  
部隊ヲ至ニ  
尚其ノ以前  
所屬部隊ノ  
分ヲモ概記ス。

所屬部隊

作戰經過ノ  
概要

部隊ニ先陣隊ヲ以テ昭和十九年九月一日伊良部島ニ上陸シ  
翌日六五連伊良部島ヲ占領シ 翌日六六以降終  
戦迄宮古島ヲ占領シ

概要

終戦(又ハ主  
力ノ戦斗終  
了)後ノ状  
況

終戦前ヨリ引續キ現地自任班長トシテ伊良部島ニ在リテ  
勤勞中 十月廿四日急命ニ依リ部隊主力ニ復帰シ 廿  
月廿日第三次引揚部隊トシテ宮古島ヨリ米船ウイノヤル  
ニ乗船 同日少艇 第一船倉長トシテ服務 十月廿八日浦賀  
港上陸ス

帰還輸送  
ノ狀況ヲモ  
併記ス。

歸郷(又ハ  
連絡)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

ナシ

備考

各上陸地支局ハ各帰還將校ヲシテ本報告ヲ記載セシメ  
才一役員省史実部ニ連送スルモノトス。

史實 調査 参考 資料 報告

摘要

所在地 沖縄縣宮古島

職官 中隊内務係

所属部隊 獨立混成第5旅團砲兵隊

氏名 陸軍准尉

終戦時メモ  
ヲ記入ス。

支那事史  
以降ニ於テ  
自己ノ略歴

支那事史  
大東亞戦争開始當時滿洲連陽支隊第三八聯隊ニ在リテ  
部隊經理委員助手昭二四三滿洲開城ニ於テ連署第十三大隊  
第三中隊内務係同年十一月牡丹江市外ニ移駐昭一九八五滿洲  
公至嶺南ニ独立混成第五旅團砲兵隊第三中隊内務係トシテ同  
月十七日同地出發同年三月由支那山港出發同年九月十四日南西諸島  
伊豆群島上陸同年六月五日宮古島ニ移駐以來中隊内務係兼自治  
係トシテ歸還迄實施ス

職ノ変更及  
主ナル参加  
戦闘名ヲ記  
ス。

所属部隊

編成年月  
日及編制裝  
備ノ概要

一編成 昭和十九年八月十五日  
二編成 裝備ノ概要  
一本部 四名  
二中隊 三(中隊)六(隊)砲兵(大門)中隊二四名  
三大隊(列)六十名

最後ノ所属  
部隊ヲ至ニ  
尚其ノ以前  
ノ所属部隊ノ  
分ヲモ概記ス。

所属部隊  
作戰經過  
概要

部隊先發隊ヲ以テ昭一九九二四伊良部島上陸  
昭二六五伊良部島守備 昭二六六以隆終  
戦時迄宮古島守備

終戦(又ハ主  
力)戦斗終  
了)後ノ状  
況

終戦時前ノ中隊自活料トシテ伊良部島ニ在リテ  
勤務中 十月二日第三次引揚部隊トシテ宮古島  
ヨリ米船トイリマケル子ニ乗船同日出発 十二月八日  
浦賀港上陸

帰還輸送  
ノ状況ヲモ  
併記入ス。

歸郷(又ハ  
連絡)先

[Redacted]

其他ノ参  
考事項

ナシ

備考

各上陸地支局ハ各帰還將校ヲシテ本報告ヲ記載セシメ  
才一復員省史実部ニ運送スルモノトス。

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名稱)

獨立第五旅團  
砲兵隊

職官  
氏名

中隊附  
陸軍中尉

全右所在地

沖繩縣宮古島

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十七年四月十日現役終了。一隊隊員入隊。  
昭和十八年九月二十五日迫布十二大隊轉入。自宮古島  
獨立五旅團砲兵隊轉入。九月二十三日、釜山出航。十二月二日  
伊良部島上陸。天号作戰參加。六月七日宮古島轉  
進。自平用進級(中尉)

職ノ變更及主ナ  
ル參加戰闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

砲兵隊(五五九七七式輕迫)本部一中隊三級砲一  
一中隊砲六門 獸馬編成

所屬部隊作戰經  
過ノ概要

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシテ前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戰闘終了)  
後ノ概況

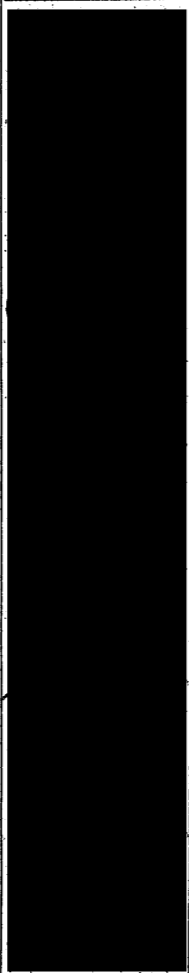
昭和二十一年八月十五日終戦

十一月二十日宮古島出發

二十日官古島出發

歸還輸送ノ狀況  
ヲモ併記ス

歸郷(又ハ連絡)  
先



其ノ他ノ參考事  
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

5

5

5

22

22

附表 第三

關東上陸地支局

昭和十一年五月二十九日

史實調査參考資料報告

摘要

著者 三九四九部隊  
獨立混成隊第九旅團砲隊

中隊長 菅野大尉

所屬(固有名)

氏名 官 職  
[Redacted]

終戦時ノモノヲ  
記ス

全右所在地

支那事變以降ニ

於ケル自己ノ略

昭和十一年四月一日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
昭和十七年四月三十日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
昭和十七年五月十五日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
昭和十八年二月二十日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
昭和十九年五月二十日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)

職ノ變更及主ナル  
参加戦闘名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成

年月日及編制裝

備ノ概要

昭和十九年四月一日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)

所屬部隊(戦戦  
過ノ概要

昭和十九年四月一日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)

後ノ概況

昭和二十一年四月一日 菅野大尉 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)  
砲隊 第九旅團砲隊長(滿洲海城)

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ参考事  
項

備  
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊  
(固有名稱)

独立混成旅團

職官

本部附

全右所在地

神戶

氏名

[Redacted Name]

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十六年一月十日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵  
昭和十七年一月一日 歩兵隊員第三〇三隊 現職 歩兵

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

昭和十六年一月十日  
大隊本部 附原 龍則(現職)  
三中队 三上 隆(現職)  
大隊司令部 野村 龍(現職)

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

昭和十六年一月十日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊  
昭和十七年一月一日 南支那方面 歩兵隊員第三〇三隊

最後ノ所屬部隊  
ヲ主ニシ向ソノ  
以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦(又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

歸還輸送ノ状況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷(又ハ連絡)

其ノ他ノ参考事  
項

備  
考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

25

25

史實調査參考資料報告

摘要

所屬部隊 (固有名稱)

独立混成第〇旅團 砲隊

職官

本部附

全右所在地

中絶 瀧上 古島

氏名

[Redacted]

終戦時ノモノヲ  
記ス

支那事變以降ニ  
於ケル自己ノ略  
歴

昭和十九年八月十日 歩兵第〇旅團 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年九月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十一月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十二月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年一月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年二月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年三月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年四月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年五月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年六月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年七月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年八月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年九月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十一月 砲隊 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十二月 砲隊 砲兵 第〇連隊

職ノ變更及主ナ  
ル參加戰團名ヲ  
記ス

所在部隊ノ編成  
年月日及編制裝  
備ノ概要

昭和十九年八月十日  
大隊 砲兵 第〇連隊 (編制員)

最後ノ所屬部隊

所屬部隊作戦經  
過ノ概要

昭和十九年八月十日 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年九月 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十月 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十一月 砲兵 第〇連隊  
昭和十九年十二月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年一月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年二月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年三月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年四月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年五月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年六月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年七月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年八月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年九月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十一月 砲兵 第〇連隊  
昭和二十年十二月 砲兵 第〇連隊

以前ノ所屬部隊  
ノ分ヲモ併記ス

終戦 (又ハ主力  
ノ戦闘終了)  
後ノ概況

歸還輸送ノ狀況  
ヲモ併記ス

先  
歸郷 (又ハ連絡)

其ノ他ノ參考事  
項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス

25

25



史實調査參考資料報告

摘要

所屬(固有名) 隊

惟意隊先旅團砲隊

職官 本部附

終戦時ノモノヲ 記ス

全右所在地

沖繩縣宮古島

氏名

[Redacted Name]

支那事變以降ニ 於ケル自己ノ略 歴

昭和五年七月日理發兵トシテ歩兵第三八聯隊ニ歸 職ノ變更及主ナ 昭和九年五月日北支那駐在幹部候補生教育隊ニ降ル參加戰闘名ヲ 昭和十一年四月日陸軍省第五九號團砲兵隊ニ轉属記ス 昭和十一年三月日沖繩縣宮古島上陸向島警備 任ズ

所在部隊ノ編成 年月日及編制裝 備ノ概要

所屬部隊作戦經 過ノ概要

昭和五年三月日宮古島郡伊良部島上陸以來同島ノ 警備ニ任シアリシモ 昭和十一年四月日宮古島ニ轉 進同島ノ警備ニ任シ終戦ニ至ル

最後ノ所屬部隊

ヲ主ニシ向ソノ 以前ノ所屬部隊 ノ分ヲモ概記ス

終戦(又ハ主力 ノ戰闘終了) 後ノ概況

歸還輸送ノ狀況 ヲモ併記ス

先 歸郷(又ハ連絡)

[Redacted]

其ノ他ノ參考事 項

備考

將校ニ記載セシメ第一復員省史實部ニ送付ス